



3月21日 | 合同チーム初の快挙

島田球場で行われた「第42回県中学選抜野球大会」の決勝戦で、川根・北中合同チームが見事優勝し、島田市に初の栄冠をもたらしました。

選手ひとりひとりが声を掛け合い、中学生らしいはつらつとしたプレーが光っていました。2年生の中村投手を中心とした堅い守備と、チームの絆を武器に、全国大会の活躍が期待されます。

3月30日 | 春風に揺れる「しだれ桜」

大草地区の慶寿寺で、大木のシダレザクラが満開を迎え、訪れた人たちの目を楽しませています。

この桜は、室町時代に同寺を開山した今川範氏が植えたものと伝えられています。現在の桜は、初代を枝わけした樹齢350年の2代目の老木で、県の天然記念物に指定されています。慶寿寺のシダレザクラは、例年ソメイヨシノよりも一週間程度早く、趣ある本堂を彩ります。



3月20日 | 太公望のシーズン到来

伊久身地区のヤマメ釣り施設「やまめ平」で、今シーズンのオープンに合わせた、恒例の釣り大会が開催され、多くの親子連れなどでにぎわいました。

今年は、県内各地から約120人もの釣り人が訪れ、最多の釣果は1時間でなんと58匹。また37cmもの大物を釣り上げた人もいました。やまめ平では、11月末まで自然に囲まれた溪流釣りの雰囲気を楽しむことができます。



3月16日 | 木のぬくもりに包まれて一息

現在、市役所玄関ロビーでは、木の香漂うベンチがお出迎えしています。川根町笹間地区の間伐材で作られたこのベンチ2脚は、NPO法人「森づくりs川根・NPO」から寄贈されました。

ヒノキ製の3人掛けとスギ製の2人掛けは、いずれも優しい座り心地に仕上がっています。ほっと一息つかせてくれるベンチは、すでに多くの来庁者に愛されています。



3月25日 | 川根路疾走 心のふれあい

「第31回かわね桜まつり走ろう会」が川根町家山で開催され、老若男女約320人の選手たちが、開花直前の桜に変わり、かわね桜まつりを盛り上げてくれました。

ファミリーの部では、声援を送るお母さんやお父さんの顔を見ながら笑顔で走る子どもたちが、花開こうとする桜のつぼみと重なり、健やかな成長を祈願する素晴らしい親子ふれあいの場となっていました。

3月27日 | かれんに咲いた春の妖精

金谷地区の牧之原公園東側斜面には、約1万株のカタクリが自生しています。今年もかれんな紅紫の花が開花し、訪れた人に春を告げました。

大井川流域でカタクリの自生は少なく、市の天然記念物に指定されています。カタクリは6～7年かけて花を付けるユリ科の多年草で、この時期になると葉の間から伸びた茎の先で、お辞儀をしているような花を咲かせます。

